

第15号
平成24年3月

北野町連だより

夢とロマンのあふれるまち

発行者
北野地区町内会連合会
会長 濱田英彦

題字 木村信也氏(北野町連相談役)

祝 北野町連と福祉のまち推進センターが表彰を受ける!

平成23年度札幌市防災表彰受賞
平成22・23年度活動で
平成22年度に災害時要援護者避難支援対策のモデル地区として、要援護者支援体制の整備を進めると併せて、防災に関する「北野防災研究会」を組織し、各単町への指導普及啓発の実績が認められ北野町連が札幌市長より表彰を受けました。皆様のご支援によるものです。

表彰状

北野地区町内会連合会様
貴組織は自主防災活動の趣旨をよく理解され住民の相互協力により積極的な活動を行い地域の防災に寄与された功績はまことに顕著であります
よってここで表彰いたします
平成24年1月30日
札幌市長 上田文雄



札幌市ぬくもり・すこやか表彰受賞
平成7年の福祉のまち推進センター設立以来、地域福祉において支援事業や世代間交流事業などの各種事業を長年にわたって進められ、ぬくもりあふれる福祉のまちづくりに大きく貢献したとして札幌市長より表彰を受けました。

札幌市ぬくもり・すこやか表彰受賞
地域福祉分野



町連10周年・20周年記念誌

昨年末恒例の清水寺貫主様の見事な書による漢字は、「縊」(きずな)でした。東日本大震災の前ぶれではじまった平成23年度は、人と人との御縁が本当に大切とお互い身にしみて感じたところでしたので、よい一字と思います。ただ、私なりに思ったことは、漢字・言葉の感じがいまひとつ、とりすましたもののような気がして引っかかりました。我々日本人が築いてきたおつきあいは、もっとざっくばらんなものです。それでも、その中に自然にけじめだけはきちんとつけて、それ以上はお互いに触れない、ここから先は入ってはいけないと、日本人がもつ道徳観・よきセンスが自動制御ではたらきます。法で決めたり、規則をつくったりも必要でしょうが、日本人が持つすばらしい歴史と人から目をそらさない温和な国民性を大いに發揮して、老いも若きも取り込んだすばらしい地域を全国各地に展開したいものです。それが「災をもって福

となす」(北野の地ももちろんご多聞にもれず)
新しい楽しい人間関係を深めていきたいと思っています。

話は変わりますが、あとひと月で平成23年度が終わり、新しい年度がはじまります。まだ、平成24年度の総会が終わっておりませんから、新年度に実行することを発表はできませんが、大きく考え方を申し上げたいと思います。

まず、大きな一つは、来年度(平成24年度)が北野の町内会連合会が創立30周年を迎えることです。昭和57年に北野連合会館を皆様のお力を借りて建てて、昭和58年3月に北野地区町内会連合会として、清田から分かれ独立しました。当時は今とはうって変わってバブル全盛期で日本全体が右肩上がりの絶頂期で個人でさえ6%~7%の金利を享受できた時代でした。今からは想像もできません。何とか往時を忍ぶ事業と今後の北野の皆様のためになる事業を年度中に展開していきたいと考えております。(詳細は、次号で…)

次に行いたいことは、防災です。災害が多く、対策防備を賑やかに展開されていますが、防災・減災は個々人に戻るというのが私の考えです。自分でやれることができているかです。これでいいのか!防災準備!

平成23年度皆様ありがとうございました。



来年度(24年度)には町連30周年!!

—朝早く いつも見守り ありがとう! — (竹内有也さん 北野台小6年)

地域とかかわりある2中学校の教育活動!!

昭和51年11月1日創立
札幌市立北野中学校
校長 開発 好博



4月に着任し、もう1年。しかし、ずっと前からいたような心地よさを感じています。それは、北野地区が、小中学校含めて様々な面で関わり合いを大事にしているからだと思います。本校については、なんと言っても、福祉のまち推進センター、清田区役所等との連携で実施しているボランティア活動です。たまたま学校の教育課程に位置づけられていないのでボランティアと言っていますが、中学生が成長する過程での大切な体験をさせていただいていると思っています。具体的には、6月の厚別川河川清掃に始まり、北野ふれあい夏まつり、北野福祉まつり、地域ゴミ拾い、夕食宅配事業、きよたんとん夏、冬まつり、そして除雪ボランティアと通年で多くの生徒が参加させていただきました。これらは中学校だけではできないことで、センター等みなさんの協力で可能になっています。

中学生は難しい年頃ですが、座学ばかりではなく、様々な教育活動をとおして、また、保護者、地域でそれぞれができるこを行ひ、みんなで生徒を育てていこうという「社中精神」で頑張っていきたいと思っています。これからも学校のこと発信し続けますので、よろしくお願いします。

昭和63年11月1日創立
札幌市立北野台中学校
校長 宇留間 準



23年に9代校長として着任しました。地域との深い結びつきに支えられての教育活動も年度末をむかえ、あらためて本校に寄せられましたご厚情に感謝申し上げます。学校も交流の場へ欠かさず参加する中で相互理解・協力を促進する所存であります。新年会は服装中で欠礼させていただきましたが、様々な会合で中学校の発信力不足のご指摘がありました。そこで、紙面をお借りして、本校教育活動の一端を紹介させていただきます。本校の特徴は日常の学習活動を疎かにせず、積極的に課外活動に取り組む全校体制にあります。生徒会・委員会活動、部活動、校外における体育・文化活動まで幅広く全校体制で支援しています。

本年度は男子テニス部全国大会出場、演劇部全国出場権獲得、全道には8人制準優勝のサッカー、銀賞獲得の合唱、入賞の陸上、女子テニス、水泳が進出しました。バレーボールは男女共に全市大会へ進出し、作文と書道で大きな賞をいただいた生徒もあります。結果に胸を張りたいところですが、自慢したいのはこれらの活動が日々の学校生活に生かされ、生徒の日常を底上げしているところにあります。是非、生の学校生活を、生徒をご覧ください。

写真で振り返る!!

—23年度の事業—



▲ 北野町連第29回定期総会（4月）



▲ 平成23年度町連執行部（4月）



▲ ヤマベ稚魚放流（5月）



▲ 理事研修会（6月）



▲ 厚別川河川敷草刈・清掃（6月）



▲ 厚別川河川敷清掃に参加の北野中のみなさん（6月）



▶ 北野ふれあい夏まつり（7月）



◀ 歩く集い（7月）



◀ 秋の交通安全運動（9月）



▶ 子育て支援事業（12月）



◀ 青少年音楽のひろば（12月）



◀ 青少年音楽のひろば（12月）



◀ 新春子どもかるた大会（1月）



◀ 新春子どもかるた大会（1月）

新鮮な町内会の運営を期待して



北野第3団地町内会
会長 張替 宣男

北野第3団地町内会は、本年設立30周年の節目を迎えました。町内会を健全に運営し発展させるためには、タイミングをみて改新されることが大切だと考えます。役員組織の改変一つとっても、色々な条件があって簡単にはできないものです。例えば、役員を永く勤めることは、町内会としては安全であり会員が安心して活動に参加できると思う。しかし高齢者が多い場合には、特別配慮が必要となり、規約や組織の見直しも伴ってきます。時には、必要に応じた役員の人数で、適切な運用を実態に即して対応することが良い場合も考えられます。

今昔を語る⑤

『努力も、耐えることも大切です』と・・・



山 下 八重子 さん
(大正12年5月25日生 南北野在住)

昨年米寿を迎えた山下さん、今の生活を伺いますと「朝30分ほど運動をしてから美味しく朝食をいただいています。時間があればラジオを聞いて楽しんでますが政治談話も面白いですね」と笑顔で語ってくださいました。日本舞踊、大正琴、編み物、歌などご趣味も多く、「最近はメールのやりとりをしています。これがひ孫です」と楽しそうに上手に携帯を使われるお姿に感銘いたしました。

両親は富山県から幌加内に移住してきましたが、戦後国内で最低気温-41.2℃を記録した極寒の地でもあります。10人きょうだいの末っ子として生を受け、学間に厳しい父親といつも優しい母親のもと実直に成育なされました。学校での洋裁教育は後の生活の支えとなり、「赤ん坊の産着から自分の和服まで全て手縫いで仕立てたものです」と考え深く思い出されておりました。

昭和22年、24歳でご結婚されたが、「農家の分家ですから、はじめは農具、生活用具も足りず大変でした」とはじめて苦労話をされました。札幌には昭和36年に転居し、食品会社で夫婦共々20年間休まず働き家庭を支えてきましたが、62年間苦楽を共にされたご主人が平成21年に他界しました。最愛の方を亡くされましたが、幼い頃から築かれた強いお気持ちで、今は多くの方々に囲まれて日々を楽しんでおられます。

今の若い人に一言の問い合わせ、「今は昔と違います

当町内会では、毎年会長も含めて全役員の改選交替制で運営してきております。その結果、運営の継続性では困ることもありますが、ボランティア活動である役員を多くの方々が経験することで町内会を身近に感じ協力する意識の高まりが期待できます。しかし実際には、高齢化が進む中で役員を順番にまわすという点では困難を生じてきているのが実態です。最近のネットワーク時代、町連との関連で単町のホームページを作成し情報交流できるシステム化も進んできています。

今後の運営では、町内会員同志の意志疎通を図ることが大切です。幸い、設立30周年を機に会員の絆がより広がり、思慮深い意見と謙虚な考え方で新鮮な町内会の運営が期待できると思います。

が、昔を思うと今は不自由がありません。でも贅沢はいけません。努力することも耐えることも大切だと思います」との言葉でしめてくださいました。山下さん、今後ともご聰明お元気でご活躍ください。

(聞き手:一瀬・伊藤)

北野町連のホームページについて

平成18年から北野地区の情報を発信し北野地区にお住まいの方などへの情報提供の場として、「北野地区のホームページ」が開設されました。

平成23年から、「清田区ITボランティア」のご協力により、町連の組織、活動内容、各種イベントの紹介を行うとともに、各単位町内会・自治会情報の紹介を行う等、リニューアルを行っております。楽しいイベントも記載されておりますので、是非一度ご覧ください。ホームページアドレス <http://kitanotiku.com/>



印刷 社会福祉法人 北海道リハビリ

(後列) 大槻、前田、張替、伊藤
(前列) 汐海、赤坂、飯田、一瀬

編集ができ、深く感謝いたします。(赤坂記)
名もとも皆様のご協力・ご支援で楽しく

平成24年3月28日

編集後記



—好ききらい しないで食べよう 絶対に！— (吉村 航さん 北野台小6年)